

## 米国軍人による凶悪犯罪の根絶を求める意見書

去る2月10日午後10時半ごろ、沖縄北谷町において、在沖縄海兵隊キャンプ・コートニー所属の二等軍曹による女子中学生暴行事件が発生した。これは、沖縄県内における13年前の悲惨な事件を想起させるものであり、再び起きた米国軍人による非人道的事件に対して強い怒りを禁じ得ない。

このほかに最近でも、昨年10月1日の沖縄市における米軍人子弟による強姦致傷事件、同年10月14日の広島市内における米軍岩国基地所属海兵隊員4名による未成年女性集団暴行事件、本年1月7日の沖縄市における米軍海兵隊員2名によるタクシー強盗致傷事件など、米軍人やその家族による凶悪犯罪が後を絶たない。

これまでも米軍による事件・事故が起こるたびに沖縄県民や基地周辺の住民、多数の国民が強く抗議し、再発防止を再三申し入れてきたが、既に基地周辺住民の受忍限度は超えている。

よって、国におかれては、こうした問題の抜本的解決を図るため、下記の事項について取り組まれるよう強く要望する。

### 記

- 1 米国政府に対し強く抗議し、直ちに被害者及びその家族に謝罪させること。
- 2 米軍に対し、より根本的な犯罪再発防止策の確立を求めるとともに、こうした事件が発生した場合には、米国政府に対し、我が国捜査機関へのより実効性のある協力体制の強化を求めること。
- 3 在留米軍に対して日本の法令が適用されるよう、改めて米国政府との交渉を強めること。

ここに、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月24日

石川県金沢市議会議長 中西利雄